

東海村まち・ひと・しごと創生推進会議における協議結果及び御意見・御質問について

1 協議結果

No.	議題	結果
1	地方創生推進交付金の評価（案）について	承認
2	新たな総合戦略の策定について	承認

2 御意見・御質問

(1) 地方創生推進交付金の評価（案）について

区分	御意見・御質問内容	回答
意見	村でもスマホ教室を実施する等、高齢者にもデジタルデバイスを活用できるように取り組みを進めているところだと思う。今後どのように高齢者にデジタルデバイスの活用を進めていくかが課題だと思う。	村では誰もがデジタルデバイスを活用できるよう、携帯会社とも協力し、スマホ教室を開催している。高齢者にも人気の教室なので、引き続き高齢者がスマートフォン等を活用できるよう取り組んでいきたい。
意見	「東海村つながるプロジェクト」で、住民がライターとなり情報発信する「スマホクリエイターズラボ」ができたことは非常に良い取り組みだと思う。	今後も引き続き取り組んでいく。
意見	コロナ対策にも配慮しながら2つの事業を着実に実施されていると思う。ただし、サイクルツーリズムは県の事業で、つながるプロジェクトはまだ試行的な段階で会合と研修の実施に留まっている。今後の評価では、会合回数や参加人数だけでなく、“何が実現したのか（例えば新事業が立ち上がったとか、何人の住民ライターが活動中かなど）を示されることが望まれる。まだ行政が仕掛けている方が多く、住民主体になっていないことを次の計画策定での課題とされるとよいと思う。	いただいた御意見については、担当課と共有し、実績として何が実現したのか御報告していきたい。

(2) 新たな総合戦略の策定について

区分	御意見・御質問内容	回答
意見	これまでの会議は、事務局から意見を聞いて委員で承認するような流れが多かった。次期総合戦略の策定時は、この会議から何か新しいことが始められるようにできたらいいと思う。せっかく集まるのだから、東海村の地方創生のためにできることを委員同士で情報交換しながら、それぞれがで	いただいた御意見については、次期計画の策定・推進に反映できるよう努める。

	きることを議論できるといい。	
質問	東海村としては、社会増で人口を維持している状況であるが、今後どのように地方創生を進めていくのか。	村では、自然減で人口が減る中、社会増で人口を維持している状況であり、これまで関係人口の創出に取り組んできた。今後も引き続き取り組んでいく。次期計画では、これまでの取り組みに加えて、デジタル技術の活用が加わる予定である。
意見	デジタルの活用として、防災無線をタブレット式の端末で配布することはできないか。パソコンが使えなくても、タブレット式の端末であれば利用できるという高齢者は多いと思う。また、村には子どもたちへの食育を進めてほしい。学校等の施設に農園があると、育てるところから食事をするところまで学ぶ機会ができると思う。	高齢者のデジタルデバイスの活用や子どもへの食育推進等についていただいた御意見は、今後の事業展開の参考にさせていただく。
意見	他の計画や活動と有機的に連携することを検討されてはいかがか。例えば、地域計画の座談会が開催されているが、この座談会の議論を新事業に展開したり、村の魅力づくりとして位置づけたりすることもできるのではないか。高校生を巻き込むなら、例えば HP を高校生に作り直してもらうとか、彼らの能力ややる気を引き出す工夫が必要。住民の皆さんに関心をもってもらえるような具体的な活動を示してみたいはいかがか。	どのように住民に関心も持ってもらうかは課題の 1 つでもあると思うので、いただいた御意見は、今後の計画策定の参考とさせていただく。